



こども明日花 project

News Letter



明日花「赤い羽根テーマ型募金」へのご協力ありがとうございました！

寄付総額は **55件 1,352,429円** となりました。

みなさまのご協力に心から感謝いたします。ご寄付いただいた募金は全額こども明日花プロジェクトの活動に使わせていただきます。

新年度からも、どうぞよろしく願いいたします！



明日花卒業メッセージ ～卒業する明日花ボランティアより～

出水美帆さん（山口県立大学社会福祉学部4年）

先日、大好きな子どもたち、優しいスタッフの方々に見送られ、2年近く関わらせて頂いた明日花ボランティアの活動を終えました。

私は、子どもとその家族に関わる仕事がしたいという思いから、四年前に山口での大学生生活をスタートさせました。その中で、偶然出会うことができた活動が明日花プロジェクトでした。

目の前にいる子どもたちと関わるうちに、それぞれの背景や抱える思いの違いを知り、彼らは支援の対象である前に、立派な一人の“人”であることを実感しました。

そして、子どもたちの嬉しいことや悲しいこと、苦しいこと等の感情に直接触れることができた子どもたちとの関わりは、常に自分自身を成長させてくれました。このような場に関わらせて頂いたこと、ご縁の巡り合わせには感謝してもしきれません。

この経験は、必ず私の人生の糧になると思います。故郷から明日花プロジェクトの今後の発展をお祈り致します。本当にありがとうございました。また会いにいきます。



ボランティアさんを募集しています。

こども明日花プロジェクトでは、子どもたちに寄り添う学習支援・調理・体験活動などのボランティアを随時募集しています。皆様のご協力を心からお待ちしております。

まずはお気軽にご連絡ください。



子どもの貧困問題に取り組む

地域コーディネーター養成専門研修を開催しました

2017年9～10月の基礎研修に続いて、2018年2月に、県内4ヶ所で、子どもの貧困問題に取り組む地域コーディネーター養成の専門研修が行われ、合計150名の参加がありました。地域コーディネーターとは、子どもと関係機関をつなぎ、地域ぐるみで子どもを支える活動を調整する人のことを指します。こどもソーシャルワークセンター代表の幸重忠孝さんと川崎医療福祉大学の直島克樹さんを講師に迎え、実際の取り組み内容や、こどもの貧困問題を正しく理解するための資料、また地域で活動する上でのアドバイスなどをいただきました。

アンケートより

コーディネーターの役割がわかりやすく話されていました。こどもの貧困の状況の映像などを見せて頂くことで、本当の貧困の状況がより具体的に分かりました。（周南会場参加者）

子どもの貧困問題を地域課題のひとつとして捉え、人と人との「縁」をつないでいくことが解決の糸口につながると感じました。（岩国会場参加者）



こどもソーシャルワークセンター
代表 幸重忠孝 氏



川崎医療福祉大学 直島克樹氏



グループワークの様子

明日花アルバム

1月～3月の明日花の活動です

「子どもの問題啓発セミナー
in 下関」を開催しました！



「シングルカフェ vol.6」を
開催しました！
子どもと大人向けのアンガーマネジメント講座でした^_^



学習ボランティアさんが
気付きを書いてくれています。



「なのはなクラブは外遊び！
気持ち良い季節になりました
^-^



高校受験、嬉しいお知らせが
何件もとどきました！





社 長
横岡 撰 樹 様

教えて!!

明日花サポーター

株式会社 TAMARU 社長 横岡撰樹 様

こどもの貧困問題対策宣言企業として多大なご支援いただいている、株式会社 TAMARU 様。ご寄付だけでなく、子どもたちの職場体験にもご協力いただいています。横岡社長に地域や子どもたちに対する熱い想いを聞きました。



1. 明日花に関わるきっかけは？

会社としてボランティア活動に関わるきっかけとなったのは、東日本大震災でした。東北の子どもの学びと遊びを支援するプロジェクト結（ゆい）という団体があり、そのボランティア活動への参加や寄付を続けてきました。

参加する中で感じたことは、支援を受ける側が本当にして欲しい支援と、する側がしたい支援との間にはギャップがある、ということでした。また、心に傷を持っている子どもたちと触れ合う中で「どうせいなくなるんだろ」と言われた時に、本当に意味のある支援とはなんだろう、と考えさせられました。

そんな中、こども明日花プロジェクトのファンドレーザーである山野井さんから、山口での貧困家庭の子どもたちの状況を聞きました。地域でも困難を抱えたり、心に傷をもっている子どもたちを支えることはできないか、ということで明日花の活動を支援することになりました。

2. 実際にチャリティー活動をしてみて何か変わったことはありますか？

子どもの貧困問題は子どもたちだけの問題ではなく、家庭や社会が複雑に絡み合った問題でもあります。ご飯をたべさせる、勉強を教える、といった子どもたちにフォーカスした活動もちろん大切ですが、より根本的な解決にむけて、子どもの貧困の現状をもっと多くの人に伝える活動をしたり、助成金などに頼らず子どもを地域で支える仕組みを作る活動にも力を入れてやっていただくとより良いと思います。

3. 子どもの貧困問題やその他問題に企業として今後どのように取り組まれますか？

去年、明日花の居場所に来る高校生3人の職場体験を受け入れました。最初はコミュニケーションを図るのに苦労しましたが、だんだんと慣れてくると、とても素直で可愛い子どもたちでした。彼らは勉強が苦手、と聞きましたが、私は学力がすべてではない、と思っています。社会では学力だけでは計れない、必要なスキルがたくさんあります。社会に出た時に、社会は嫌なところばかりではなく、いい面もある、と少しでも希望を持ってもらえるように、今後は、明日花の子どもたちにむけた具体的な就職支援にも力を入れていきたいです。

各種自動車販売・修理、車検（1日車検）、
板金、塗装、カーフィルム&ポリマー加工、
自動車損害保険、エアロパーツ販売・取付、
カー用品（アルミ・タイヤ・バッテリー）
販売。

株式会社 TAMARU

〒753-0214

山口県山口市大内御堀 2592-2

TEL : 083-923-2026 FAX : 083-923-3395

HP : <http://carshop-tamaru.com>





「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー in やまぐち」を開催します！

全国で、こども食堂が増えつつあり、今後、県内においても、こうした取り組みが広がることが期待されます。そこで、こども食堂についてもっとよく知り、地域でのネットワークを広げるため、「広がれ！こども食堂の輪 全国ツアー」を開催することになりました！こども食堂って何？と言う方から、こども食堂を開きたい！という方まで、ぜひご参加ください。

日 時：平成30年5月13日（日）午前10時～午後4時

場 所：山口県立大学6号館F

山口市桜島6丁目2-1（北キャンパス）

参加人数：200名程度（参加費無料）

※講師等につきましては、同封のチラシをご確認ください。



＜参加申し込み方法＞

右のQRコードをご利用ください。

※ご利用が難しい方はEメール sanka.asuhana@gmail.com

または電話 070-7562-1187 にて承ります。

お名前、所属・団体名、住所、電話番号、Eメール、

分科会の希望、お弁当注文の有無（500円）

をご連絡ください。



※この申込を通じて取得した個人情報は、本全国ツアーの運営に関する用務以外の目的には使用いたしません。



フードドライブを実施します。

自宅や職場で余っている食品で賞味期限が1ヶ月以上あり、常温での保存が可能なものをお持ち寄りください。こども食堂や食べ物を必要としている施設や団体等にお届けします。



平成29年度実績（H29.4～H30.3）



	のべ回数		のべ参加者			ボランティア	
	(回)	(人)	学習	調理	合計		
無料学習会 (昼食付) 3か所	117	837	493	286	779		
居場所づくり (夕食付)	47	589	266	139	405		
		1,426	759	425	1,184		

発行元

こども明日花プロジェクト（特定非営利活動法人 山口せわやきネットワーク）

〒753-0054 山口市富田原町4-45 なのはなハウス

TEL：070-7562-1187

ホームページ：<http://asuhana.org/>